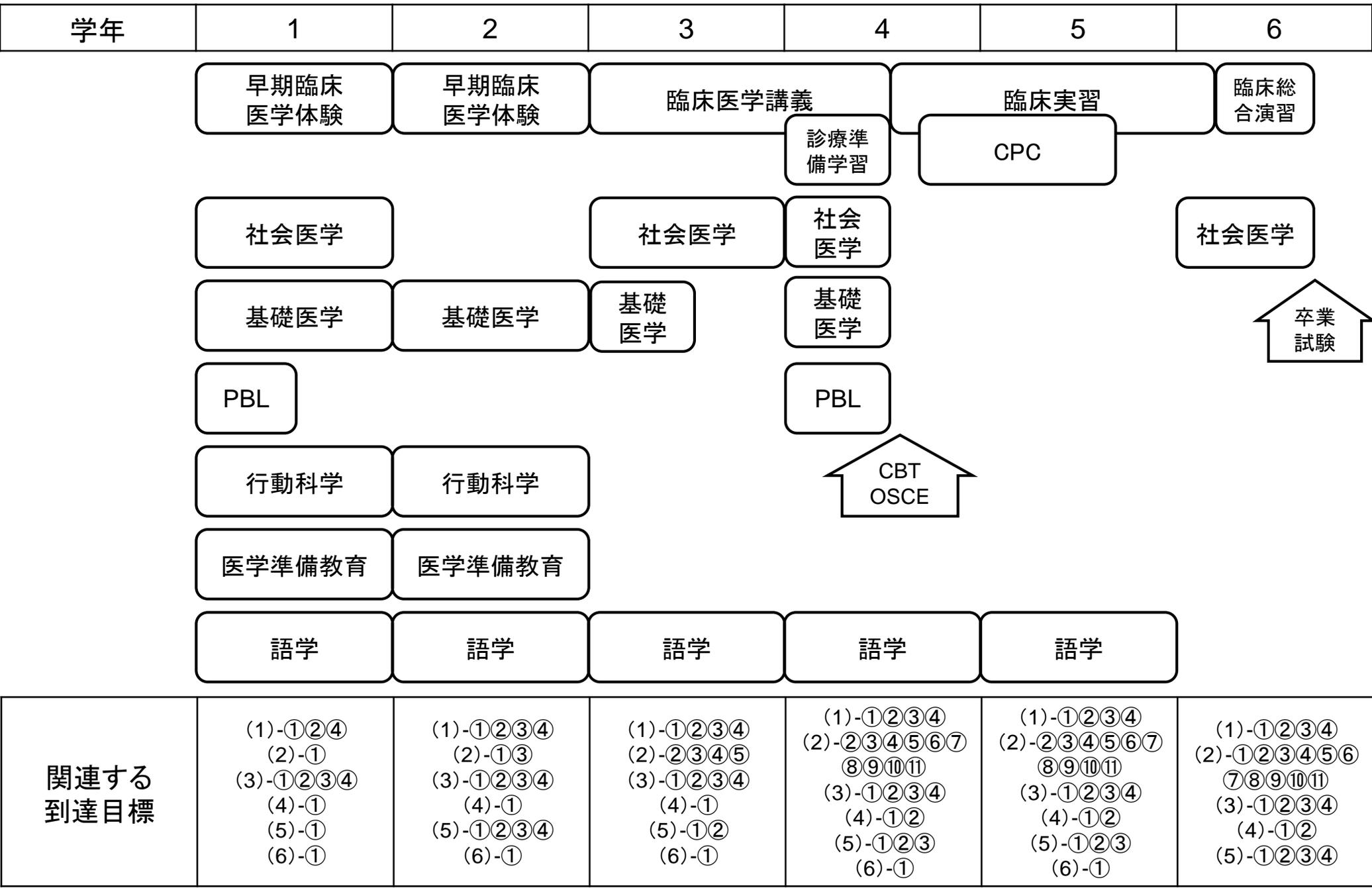


6年間のカリキュラムの概要(カリキュラム・マップ)



杏林大学医学部教育における到達目標

教育理念と学位授与の方針に基づき、杏林大学医学部の学生は、卒業までに以下の能力・態度を身につけることを目標とする。

(1) 医師の社会的責任

- ① 医師・医学研究者としてふさわしい価値観を身につける。
- ② 医師・医学研究者に求められる倫理と法的責任を認識する。
- ③ 安全な医療を行う姿勢を身につけ、そのために必要な知識、技能を修得する。
- ④ 同僚や他の職種の人たちと協調する態度を身につける。

(2) 医学知識と技能

- ① 人体の正常の構造と機能を理解する。
- ② 主要疾患の病態生理と自然歴を理解する。
- ③ 薬物治療の原則と、個々の薬物の作用を理解する。
- ④ 主要疾患の治療法を理解する。
- ⑤ 心理的、社会的側面を含む適切な病歴聴取が行える。
- ⑥ 基本的な身体診察が行える。
- ⑦ 基本的な心肺蘇生術 (basic life support) が行える。
- ⑧ 病歴と身体診察の所見から問題点を抽出し、根拠 (evidence) に基づく解決法を示すことができる。
- ⑨ 患者の問題解決のための人的資源、診断手段、治療手段、医療・保健施設、社会制度について理解する。
- ⑩ カンファランス、回診において適切な症例呈示が行える。
- ⑪ 適切な医療記録を作成するための基本的原理を理解する。

(3) 問題解決能力

- ① 適切な情報源にアクセスして必要な情報を収集することができる。
- ② 様々な情報源から得られた情報に基づき、科学的思考によって問題解決を図る能力を身につける。
- ③ 批判的思考と研究的な態度を身につける。
- ④ 自律的で、適切な自己評価に基づいて学び続ける態度を身につける。

(4) コミュニケーション能力

- ① 患者、家族、同僚、他職種の人たちと良好な人間関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を身につける。
- ② 患者、家族の文化的、宗教的、個人的背景に配慮して行動できる。

(5) 医学・医療と地域・社会との関わり

- ① 健康状態に影響するライフスタイル、遺伝、人口統計、環境、社会、経済、心理、文化の各因子について理解する。
- ② わが国の医療・保健制度および医療経済について理解する。
- ③ 個人あるいは地域・職域において健康を維持し疾病を予防する方策を示すことができる。
- ④ 健康問題や疾病の予防について地球規模の視野に立って理解する。

(6) 英語運用能力

- ① 診療・研究に必要な英語運用能力を身につける。